第2740地区 創立／1990年9月29日 認証／1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：四元 清安／副会長：大久保 厚司／幹事：前田 眞澄

2012～2013年度クラブスローガン

集う仲間への感謝・新しい出会い
友情の輪がロータリーの力

RI 2012～2013年度テーマ
奉仕を通じて平和を

〒857-0872長崎県佐世保市上京町3-2セントラルホテル佐世保419号室 TEL.0956-25-5595 FAX.0956-25-3445 Mail.chuo-rc@theia.ocn.ne.jp

本日の出席率８５．３%: 会員数４２名・出席３４名・欠席６名・出席規定免除会員（２） １名・ビジター０名
前々回の修正出席率１００%: 出席３０名・メークアップ１０名・出席規定免除会員（２） １名

会長挨拶／四元 清安君



皆さんこんばんは、最初に本日の社員招待映画例会を企画準備いただいた職業奉仕委員会委員の皆様、またお手伝いをいただいた各委員会の皆様、特にいつも最大限のご協力を頂いておりますシネマボックス太陽、我がクラブの会員でもあります牛島社長には大変お世話になり感謝申し上げます。また社員の皆様には、ロータリー、ロータリーと社長や専務が云って出かけているけど「何をしているのか分からない」という方がたくさんいると思います。短い時間ではありますが、ロータリークラブの説明に関して簡単なビデオを用意いたしました。このビデオをご覧になり、ロータリークラブの活動の内容が頭の片隅にでも残れば幸いです。ロータリークラブというのは奉仕団体と思われていますが、それだけではありません。会員皆さんの知識の向上や経営者として、一般社会人として、また一人の人間としての質の向上を計っている団体でもあります。

ロータリークラブの奉仕部門は大きく5つに分かれています。その中の一つに「職業奉仕委員会」というものがあります。これがロータリーの特徴となっております。ロータリークラブの基礎にサービスを据えたのは、「アーサー・フレデリック・シェルドン」という人です。日本では「原文のサービスを奉仕」と訳し「奉仕」の意味を使え奉ることとしました。サービスのもともとの意味の概念とは違います。「サービス」とは相手のことを思い「家庭」においては、「相手のためになるような行為」「相手のことを思う行為」と意味づけ、「よい家庭」「幸せな家庭」につながると考えました。またビジネスにおいては、「サービスの心がけ」はシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」信用を増して「繁栄への道」となり、「最もよくサービスするものは、最も良く報われる」ということになります。また、自分のことしか考えない行為、サービスを心掛けない行為は、「一時的にはよくても、破滅への道だ」と断言しました。つまり自分の職業の質を高めお客様に良質なサービスを提供すれば、「自分の利益」としてかえってくると考えてもいいのではないかと思います。

眠たくなるような話はここまでにして、本日はせっかくの機会です「最強の二人」という首から下が麻痺した大富豪と、彼を介護するスラムの黒人青年二人の友情を描いた物語の映画を見て、たまには家族で、友人同士で、職場の同僚同士で秋の夜長「映画の話をタネ」に語り合うのもいいかもしれません。

Report 幹事報告／前田 眞澄君

1．例会変更
佐世保西ロータリークラブ
11月27日（火）12：30→11月27日（火）18：30～
雑魚屋 夜の例会のため

2．来　　信
・国際ロータリー
ザ・ロータリアン 2012年11月号
・佐世保東ロータリークラブ
創立45周年記念誌

3．伝達・通知
○来週11月15日（木）第1044回例会は本年度の年次総会となっています。議案は次年度の役員･理事選任（案）の件と成っております。大事な総会ですので会員皆様のご出席をよろしくお願い致します。尚、本日欠席の方もおられますので、全会員様に改めて FAX にてご案内させていただきます。

(^_^) ニコニコボックス

四元清安会長、大久保厚司副会長、前田眞澄幹事
皆さんこんばんは。本日は社員招待映画例会に会員始めご家族、社員の皆様、ようこそいらっしゃいました。心より歓迎申し上げます。また、設営・準備をしていただきました川崎職業奉仕委員長並びに委員会メンバーと本日映画館をご提供いただきました牛島会員に感謝申し上げます。

牛島義亮君
本日はシネマボックス太陽にご来場いただきありがとうございました。出張で不在しておりますが、どうぞごゆっくり映画

週報制作：出席・会報委員会／馬場 貴博、芥川 浩一郎、崎元 英伸、川島 千鶴、宮崎 正典、香月 章彦

鑑賞をお楽しみ下さい。特に会員の皆様、途中で抜け出さず最後まで鑑賞いただきます様 心より、心よりお願いしますよ。

田端茂君

本日はお忙しい中、社員、家族の皆様ご出席いただきましてありがとうございます。フランス映画「最強のふたり」をお楽しみ下さい。

本日の合計	5,000 円
本年度の累計	441,000 円






■ 社員招待映画例会「最強のふたり」■



フランスで公開するや、またたく間に映画史を塗り替える興行記録を打ち立てた映画があった。「最強のふたり」……実話をもとに描かれたこの作品は、ただ人々の温かい涙、そして沸き起こった拍手と笑顔だけで驚異的な記録。その感動と熱狂は全世界へ伝播した。

事故で全身麻痺となり車いす生活を送る富豪フィリップは、介護士面接にやってきて、開口一番「不採用のサインをくれ」と切りだした場違いな黒人青年ドリスに興味を持った。
そこから始まった異文化2人のセット生活。クラシックとソウル、高級スーツとスウェト、文学的な会話と下ネタ……。全てにわたり2人の世界は衝突し続けるが、やがてお互いを受け入れ、とんでもなくユーモアに富んだ最強の友情が生まれ始める。その友情は周りの人々、さらには彼ら自身の運命をも変えていく。ところが……。
人生はこんなにも予測不可能で、こんなにも垣根がなく、こんなにも心が躍り、こんなにも笑えて、涙が溢れる！

監 督　エリック・トレダノ　オリヴィエ・ナカシュ
脚 本　エリック・トレダノ　オリヴィエ・ナカシュ
製 作　ニコラ・デュヴァル・アダソフスキ
　　ヤン・ゼノウ　ローラン・ゼイトゥン
出演者　フランソワ・クリュゼ　オマール・シー
　　オドレイ・フルーロ　アンヌ・ル・ニ
上映時間　112 分



memo

SAA：田端　茂君
次回例会／１１月１５日１２：３０～　年次総会
次回献立／ハンバーグ温野菜添、ポタージュスープ